

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

生活・健康系コース(家庭)／  
渡邊 廣二

### ■平成25年度の目標に対する自己点検・評価

#### I. 学長の定める重点目標

##### I-1. 教員養成大学教員としての授業実践

中央教育審議会は、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」答申したが(平成24年8月28日)、その中で「教員を高度専門職業人として明確に位置付ける」と提言している。この答申の考え方を実現するため、教員養成大学に籍を置く教員として、将来、教師を目指す学生に対してどのような授業実践を展開すればよいか。あなたの取り組みを、①授業内容、②授業方法、③成績評価の三つの観点から示してほしい。

#### 1. 目標・計画

①授業内容のうち、家庭科教員として必要な基礎的かつ標準的な内容は、学習指導要領に準拠する。これに現代的課題に関する内容を加えて、教員としての専門的能力を高める。  
②授業方法については、学生が積極的に授業に参加できるよう、演習科目の授業では、次週の授業の課題と参考資料をあらかじめ前の週に示すようにする。そして、授業当日には、まとめてきた課題を学生に発表させ、これに加えて関連する事柄について説明する。  
③成績評価のうち、知識・理解の評価については学期末テストにより、また思考や表現の評価については学生に課した課題への対応や授業中の発言により、さらに関心・意欲の評価については授業への出席状況により、それぞれ評価するとともに、これらを総合して成績評価とする。

#### 2. 点検・評価

①授業内容のうち、基礎的な内容は学習指導要領に準拠した。これに現代的課題に関する内容を加えて、家庭科教員としての専門的能力を高めるよう努めた。  
②授業方法については、演習科目の授業において、授業の課題と参考資料をあらかじめ前の週に示すようにした。そして、授業当日には、まとめてきた考察を学生に発表させ意見交換をおこなった。  
③成績評価のうち、知識・理解の評価については学期末テストにより、また思考や表現の評価については授業中の発言により、さらに関心・意欲の評価については授業への出席状況により、それぞれ評価した。そしてこれらを総合して成績評価とした。

## Ⅱ. 分野別

### Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

#### 1. 目標・計画

学生が授業や卒業研究に積極的に取り組めるよう工夫する。とくに授業においては学生と教員との意見交換に止まらず、学生間の意見交換が行われるように努めたい。

#### 2. 点検・評価

授業において学生の発言が活発におこなわれるように促した。そのために役立つと思われる資料やワークシートを用いた。

### Ⅱ－2. 研究

#### 1. 目標・計画

実践的・体験的な消費者教育が行われる上で役に立つ教材開発に取り組みたい。

#### 2. 点検・評価

実践的な学習に役立つようロールプレイングのシナリオ作成に取り組んだ。

## Ⅱ－3. 大学運営

### 1. 目標・計画

コース会議や部会議等を通して大学運営に貢献する。

### 2. 点検・評価

コースや部の運営に協力することを通して大学運営に貢献した。

## Ⅱ－4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

附属学校の各種研究会やLFタイムなどの行事に積極的に関わる。

### 2. 点検・評価

LFタイムの講師を務めた。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)